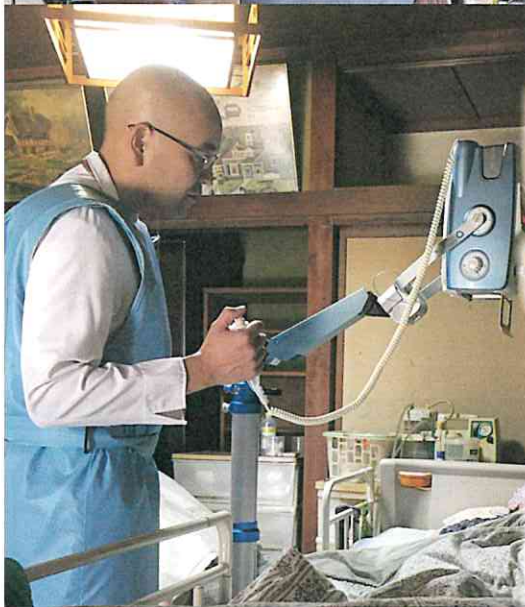


在宅医療

私
たち
の
ま
ち
の



在宅医療とは

在宅医療とは、医師や歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ケアマネジャー、ホームヘルパーなどの専門職が連携して、**患者さんの住まい（自宅・施設など）を訪問して行う医療・ケア**のことを言います。また、医師が訪問して行う在宅医療には、定期的に訪問する「訪問診療」と患者・家族の求めに応じて訪問する「往診」の2種類があります。

対象者

- ・通院することが難しい方
- ・認知症や寝たきりの方
- ・パーキンソン病などの難病をお持ちの方 等
- ・高齢で定期的な管理が必要な方
- ・最期まで自宅で過ごしたい方

メリット

- ・住み慣れた環境で療養できる
- ・入院より自由度の高い生活が送れる
- ・家族や友人と好きなときに過ごせる

入院との違い

- ・入院治療より家族のサポートを必要とする
- ・本人だけでなく、家族（親族）の意思統一が必要
- ・積極的な治療は難しい



「こんにちは。体調どうですか？夜眠れていますか？」優しく尋ねる在宅医齋木先生の診察が始まります。入院先の主治医から、「間もなく退院できるので施設を探してください。病状から自宅で介護するのは難しいでしょう。」と言われ、家で介護することを諦めていました。コロナウイルスの影響で、二箇月ぶりに再会することができ、病室で家に帰れる日を待ち望んでいた泣き顔の主人を見た時、在宅介護を決心しました。

しかし、家で吸引や点滴の交換が私にできるのか悩み、心配でケアマネさんに相談したところ、「今は訪問してくださる医師もいるし、訪問看護師が介護の仕方を教えてください。全力でサポートしますから大丈夫ですよ。」と喜んでくださいました。

退院の日、家に着いた時の嬉しそうな主人の顔は今でも忘れません。定期的に訪問してくださる齋木先生、看護師、リハビリ及び訪問入浴のスタッフ、皆さんの笑顔にいつも癒されています。齋木先生は、「奥さん寝られていますか？買い物など行っている？」と心配してください。」「何かあったら電話してください。」と帰りがけに言葉を掛けてくださいます。

茶の間で家族と一緒にテレビを見て過ごす幸せな一時、在宅医療のありがたさを感じています。

忘れられない、夫の顔

経験者談

令和2年12月発行 【編集・発行】毛呂山町 越生町 毛呂山越生在宅医療支援センター

掲載記事・在宅医療に関するお問い合わせは、毛呂山越生在宅医療支援センターまで

☎ 049-295-2320 (平日9:00~17:00)